

SID R

滋賀県感染症情報

SHIGA Infectious Diseases Report

《週報》

第2巻第10号

第10週(3月4日～3月10日)

発行年月日:平成14年(2002年)3月19日

発行:滋賀県立衛生環境センター内
滋賀県感染症情報センター

電話 077-537-3051 FAX 077-534-3936

1) 全数報告の感染症(1類～4類)

感染症類型	疾患名	報告数 (10週)	累積報告数 (1週～10週)	平成13年 報告数
1類感染症	報告なし	0	0	0
2類感染症	細菌性赤痢	0	2	4
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	0	0	44
4類感染症	アメーバ赤痢	0	2	5
	急性ウイルス性肝炎	0	0	2
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	0	2
	後天性免疫不全症候群	0	1	6
	ジアルジア症	0	0	1
	ツツガムシ病	0	0	2
	梅毒	0	1	6
	レジオネラ症	0	0	1

2) 定点把握の対象となる4類感染症

疾患名	定点当たり患者数	
	10週	増減 4週～9週
インフルエンザ	5.74	6.77
咽頭結膜熱	0	0.01
A群溶連菌咽頭炎	0.50	0.50
感染性胃腸炎	6.44	5.09
水痘	2.50	2.08
手足口病	0.19	0.22
伝染性紅斑	0.72	0.36
突発性発疹	0.47	0.48
百日咳	0	0
風疹	0	0.01
ヘルパンギーナ	0.03	0
麻疹	0	0.06
流行性耳下腺炎	1.00	0.90
急性出血性結膜炎	0	0
流行性角結膜炎	0.29	0.29
急性脳炎	0	0
細菌性髄膜炎	0	0.02
無菌性髄膜炎	0.14	0.10
マイコプラズマ肺炎	0.29	0.22
クラミジア肺炎	0	0
成人麻疹	0	0

* 増減は、平成14年4週～9週の平均に対する今週との比較
増加 減少 変化なし

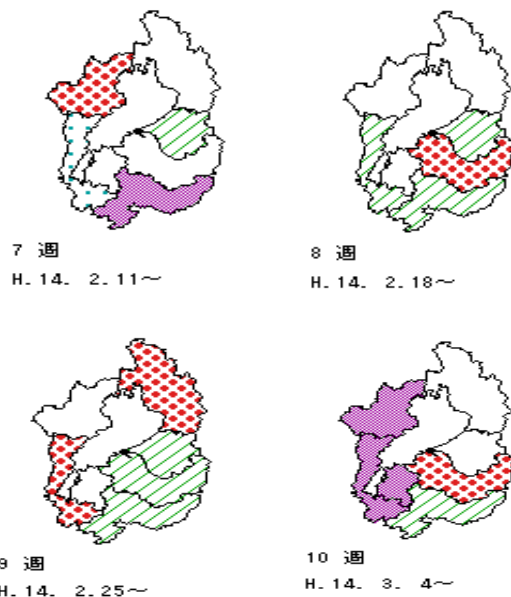
* 太字は、今週の注目される疾患です。

全国集計などの詳細な集計結果は、**国立感染症研究所感染症情報センターのホームページ**において公表されています。
(<http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>)

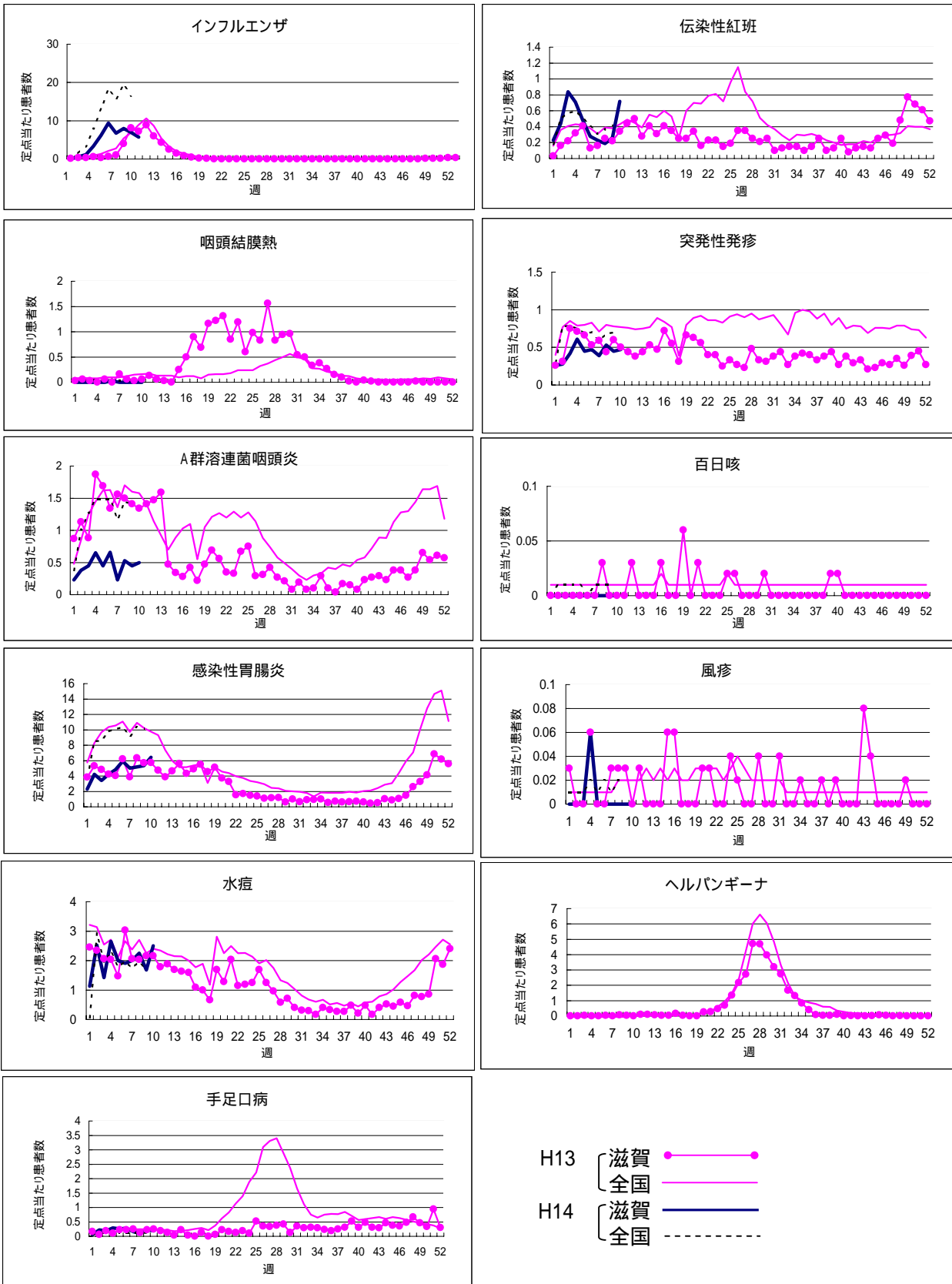
3) 今週のトピックス

伝染性紅斑の増加が著明 インフルエンザは減少傾向

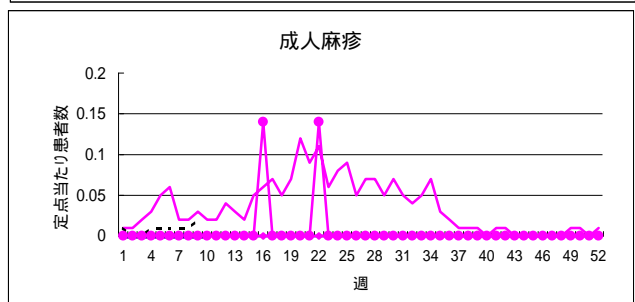
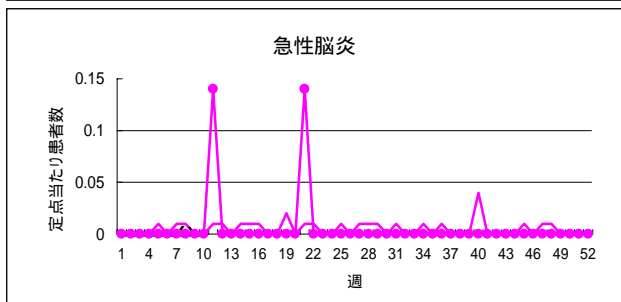
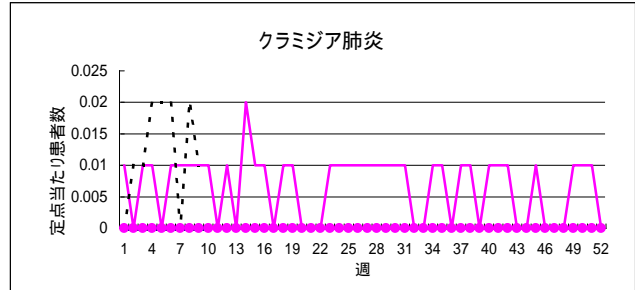
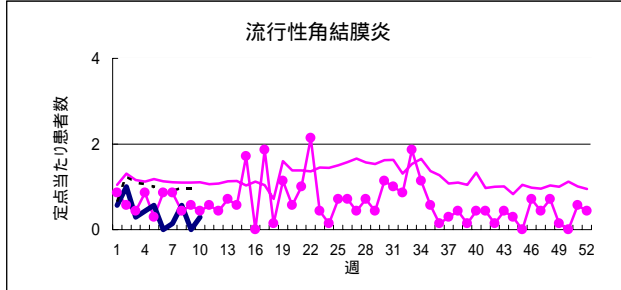
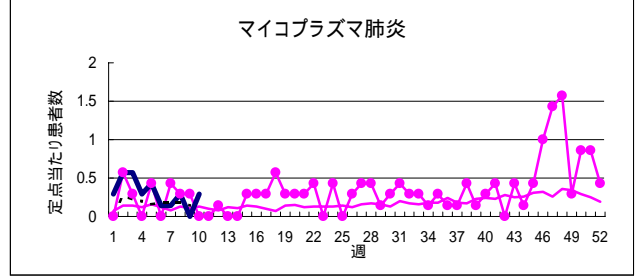
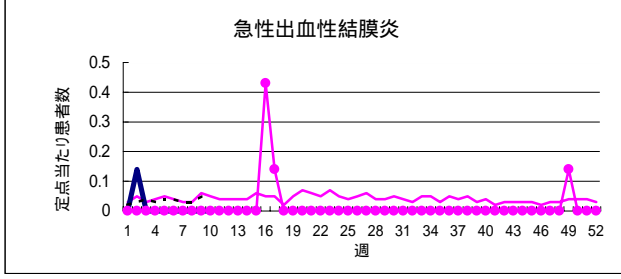
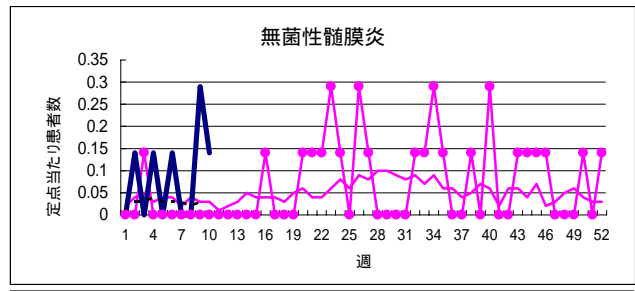
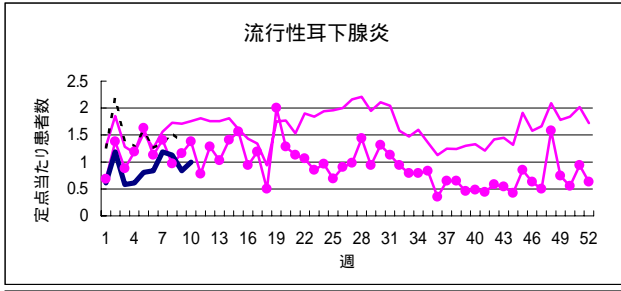
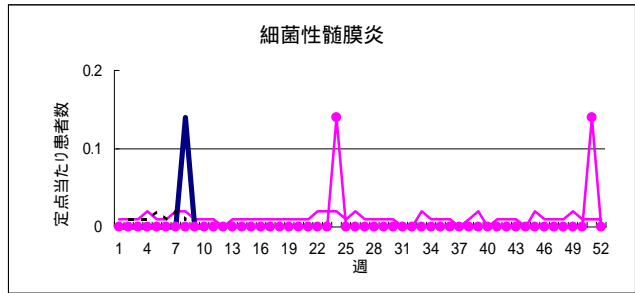
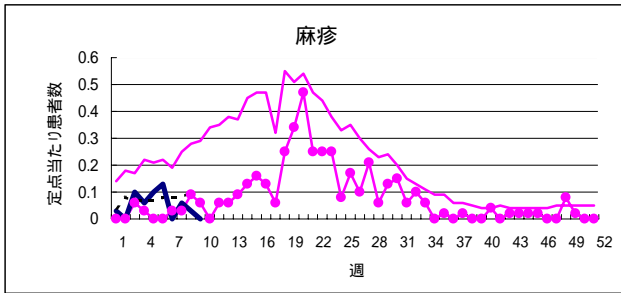
滋賀県における定点当たり患者数について、平成14年4週～9週の平均と平成14年の10週を比較すると、感染性胃腸炎、水痘、伝染性紅斑等に増加傾向が見られます。インフルエンザの定点当たり患者数は、第6週の9.43を最高とし、それ以後は減少傾向を示しています。また、伝染性紅斑の定点当たり患者数は0.72となっており、第3週の0.84について高い報告数となっています。伝染性紅斑の第7週～第10週の地域分布は、下記のグラフのとおりです。



疾病別定点当たり患者数(平成14年第1週～第10週)



疾病別定点当たり患者数(平成14年第1週～第10週)



H13 { 滋賀 ●——●
 { 全国 ————
 H14 { 滋賀 ————
 { 全国 - - - - -